

V ごみ処理の状況

本章では、ごみ処理の概要について簡単に説明した上で、加西市クリーンセンターにおけるごみ処理量の推移、ごみの資源化・減量化の実績を示し、加西市内におけるごみの発生・処理状況を整理しています。

1 ごみ処理の概要

廃棄物処理対策については、平成 26 年 4 月から燃やすごみ、粗大ごみの中間処理を小野市、加東市、加西市が組織する小野加東加西環境施設事務組合にて共同処理を開始し、クリーンセンター内の焼却施設を廃止しました。平成 26 年度から燃やせないごみを廃止し、小型家電のターミナル回収を実施しました。また市内全域の民間委託収集区分の細分化を図り、収集時間の短縮に取組みました。

加西市埋立最終処分場の維持管理について、平成 24～25 年度の延命化工事（第 1 期工事）に引き続き、平成 30～令和元年度の延命化工事（第 2 期工事）を実施し、残余容量の確保を図りました。

ごみの処理状況は令和 4 年度は 11,821 トンであり、前年度 11,970 トンと比較すると約 1.2% の減少となりました。一方、粗大ごみ拠点回収事業については 119 町で事業実施しました。家庭系ごみにつきましては、令和 4 年度 7,711 トンであり、前年度 7,969 トンと比較すると約 3.2% の減となりました。

ごみ減量に対する意識の啓発を図るため、小中学校 P T A による資源ごみの集団回収運動奨励金、ごみ減量化機器設置補助金の交付を行いました。平成 26 年からスタートしている剪定枝のリサイクル、ごみの減量、リサイクル、再利用の推進に努めました。



【小野クリーンセンター】

2 ごみ処理量の推移

廃棄物処理対策については、平成26年4月から燃やすごみ、粗大ごみの中間処理を小野市、加東市、加西市が組織する小野加東加西環境施設事務組合にて共同処理を開始し、クリーンセンター内の焼却施設を廃止しました。平成26年度から、燃やせないごみを廃止し、小型家電の種類を追加しました。資源ごみについても、剪定枝と缶類等に分けました。

(1) ごみ総処理量の推移

区分	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
燃やすごみ	(t)	9,409	9,388	9,267	8,695	8,940	9,295	9,139	9,271	9,280
小型家電	(t)	28	28	28	27	34	38	43	39	34
埋めるごみ	(t)	622	649	533	579	655	482	362	587	487
資源ごみ	剪定枝(t)	520	505	346	593	513	511	659	668	748
	缶類等(t)	461	451	418	390	389	388	412	407	374
粗大ごみ	(t)	473	611	735	710	733	799	998	998	898
計		11,513	11,632	11,327	10,994	11,264	11,513	11,613	11,970	11,821

(2) 家庭系ごみ処理量の推移

区分	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
燃やすごみ	(t)	6,067	6,152	6,137	6,037	6,064	6,262	6,310	6,276	6,165
小型家電	(t)	28	28	28	27	34	38	43	39	34
埋めるごみ	(t)	206	242	213	196	183	180	206	187	177
資源ごみ	剪定枝(t)	73	69	77	66	68	80	116	108	117
	缶類等(t)	457	445	414	387	386	385	408	402	371
粗大ごみ	(t)	412	555	691	657	682	750	959	957	847
計		7,243	7,491	7,560	7,370	7,417	7,695	8,042	7,969	7,711

(3) 事業系ごみ処理量の推移

区分	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
燃やすごみ	(t)	3,320	3,222	3,114	2,651	2,868	3,024	2,825	2,993	3,110
小型家電	(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
埋めるごみ	(t)	65	128	35	53	52	39	49	39	52
資源ごみ	剪定枝(t)	418	413	251	515	427	406	524	517	600
	缶類等(t)	4	6	4	3	3	3	4	4	3
粗大ごみ	(t)	30	46	42	34	38	36	28	27	38
計		3,837	3,815	3,446	3,256	3,388	3,508	3,430	3,580	3,803

(4) 料金免除ごみ処理量の推移

区分	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
燃やすごみ	(t)	22	14	16	7	8	9	4	2	5
小型家電	(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
埋めるごみ	(t)	351	279	285	330	420	263	107	361	258
資源ごみ	剪定枝(t)	29	23	18	12	18	25	19	43	31
	缶类等(t)	0	0	0	0	0	0	0	1	0
粗大ごみ	(t)	31	10	2	19	13	13	11	14	13
計		433	326	321	368	459	310	141	421	307

3 ごみの資源化・減量化

加西市では、ごみの資源化・減量化を促進するために、小中学校PTAによる資源物集団回収（美バース）に奨励金並びにごみ減量化機器に補助金をそれぞれ交付しています。

(1) 資源ごみ回収量の推移

区分	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
集団回収	(t)	1,587	1,506	1,451	1,409	1,369	1,280	728	738	992
収集・搬入	剪定枝(t)	520	505	346	593	513	511	659	668	748
	缶类等(t)	461	451	418	390	389	388	412	407	374
計		2,568	2,462	2,215	2,392	2,271	2,179	1,799	1,813	2,114

(2) 生ごみ減量化機器設置補助件数の推移

種類	年度	H30	R元	R2	R3	R4
コンポスト	(基)	23	13	14	17	14
生ごみ処理容器※	(基)	2	2	2	1	3
生ごみ処理機器	(基)	12	13	9	13	23
計		37	28	25	31	40

※醗酵菌使用

4 廃食用油リサイクル事業

廃食用油の回収

廃食用油は、今まで可燃ごみとして廃棄・焼却処分されていましたが、廃食用油リサイクル事業として回収する取組みを実施しています。

廃食用油リサイクル事業の実施方法について見直しを行い、平成25年度をもって市外回収、BDF生産を終了しました。しかし、一方で市内の一般家庭からの廃食用油の回収は市民にも浸透しており、リサイクル意識の啓発にも繋がっているため、継続していきます。

■廃食用油の回収状況（単位：リットル）

年度	H30	R1	R2	R3	R4
加西市内の回収量(L)	10,925	10,650	10,325	10,085	8,140

家庭用の廃食用油を回収し、リサイクル会社へ販売する事業を実施しました。令和4年度の廃食用油回収実績は、8,140 リットル、廃食用油販売量は 7,430 k g、廃食用油売捌収入は、20,433 円。